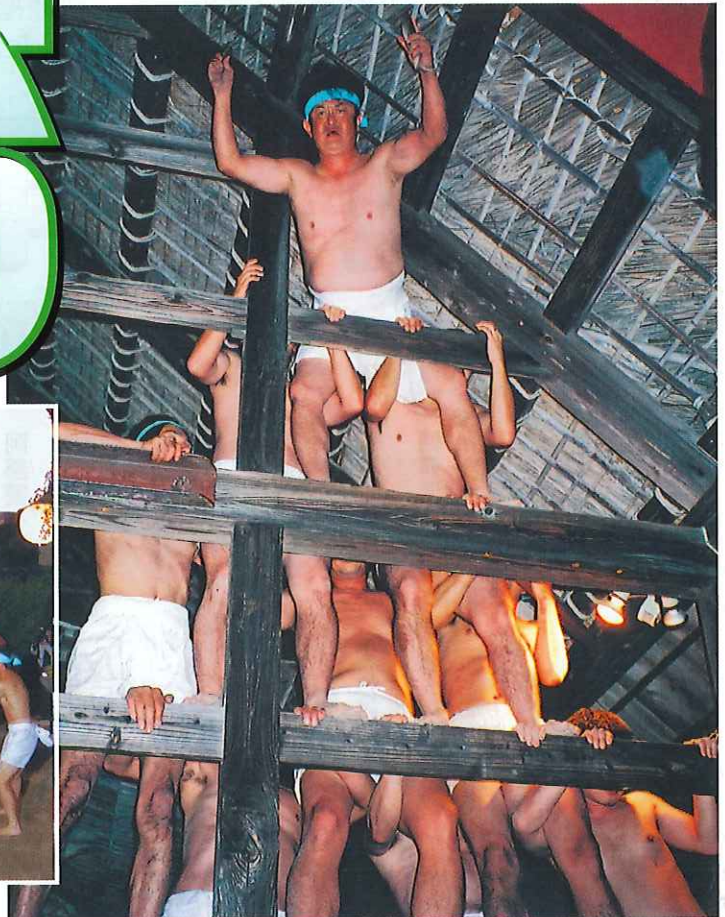


みなかみ 議会 だより

第9号

平成19年11月1日発行
(2007年)

群馬県利根郡みなかみ町



ヤッサ祭り

下津・小川島地区

(左)境内を数珠繋ぎで練り回る若者 (右)八幡宮に登る若者たち

定例議会 (平成19年9月6～14日)

…2

平成18年度決算 一般会計・特別会計 ————— 2

平成19年度補正予算 一般会計・特別会計 ————— 4

町政を問う 一般質問5人 ————— 6

行財政改革
特別委員会 中間報告 ————— 12

議会の動き ————— 13

トピックス 住民の力で各地の夏祭りが復活! 14

9月 定例議会

6日から14日までの9日間の会期で開催されました。
 発議3件、報告4件、専決処分2件、補正予算6件、条例改・制定4件、その他3件が提出されました。また、18年度一般会計・特別会計の決算を審査しました。
 審議の結果、全ての議案を原案通り可決・認定しました。
 5人の議員が『教育環境』『医療福祉』『産業振興』『インフラ整備』その他町の課題等について一般質問をしました。

平成18年度決算

— 決算 討論 —

ど町民の健康が危ぶまれます。

日常の健康づくりの指導をお願いします。

(賛成多数認定)

賛成 小野章一議員

医療費増加など運営に苦慮する中で、出産育児金や人間ドックなど町民に直結した事業もあり、国保会計運営のより一層の努力をお願いします。
 (賛成多数認定)

賛成 阿部賢一議員

新町として、旧三町村から引き継いだ事業やサービスについて予算に基づき実施されたもので、認定すべきです。
 (賛成多数認定)

賛成 穂刈清一議員

反対 国民健康保険特別会計

賛成 国民健康保険特別会計

国民皆保険制度は優れた制度です。

混合医療の導入や株式会社での病院経営参入、国の医療費削減から町民の負担が増え、受診抑制な

住民が文化的な生活を送れるよう、下水道事業の推進をお願いします。

(賛成多数認定)

賛成 前田善成議員

この制度は、保険証の取り上げを禁止する優れた部分もありました。制度改悪で負担増になり、国が進める医療改悪を助長します。

反対 穂刈清一議員

この制度が将来にわたり、安定的に運営され、充実されることを期待します。
 (賛成多数認定)

賛成 速水一浩議員

反対 下水道事業特別会計

賛成 下水道事業特別会計

借金残高も多く、新規借入金もあり、町財政を困難にします。

清浄な水を下流域にもたらすことが使命です。

経営は厳しいですが、長期的展望に立った事業改革を行い、健全な運営と水の安定的供給を期待します。
 (賛成多数認定)

賛成 前田善成議員

時効等で徴収不能金額が一億五千万円も会計監査で指摘されており、改善を求めます。

反対 水道事業特別会計

賛成 水道事業特別会計

簡易水道特別会計

広域観光センター特別会計

自家用有償バス特別会計

スキー場特別会計

温泉事業特別会計

(全会一致認定)

一 般 会 計

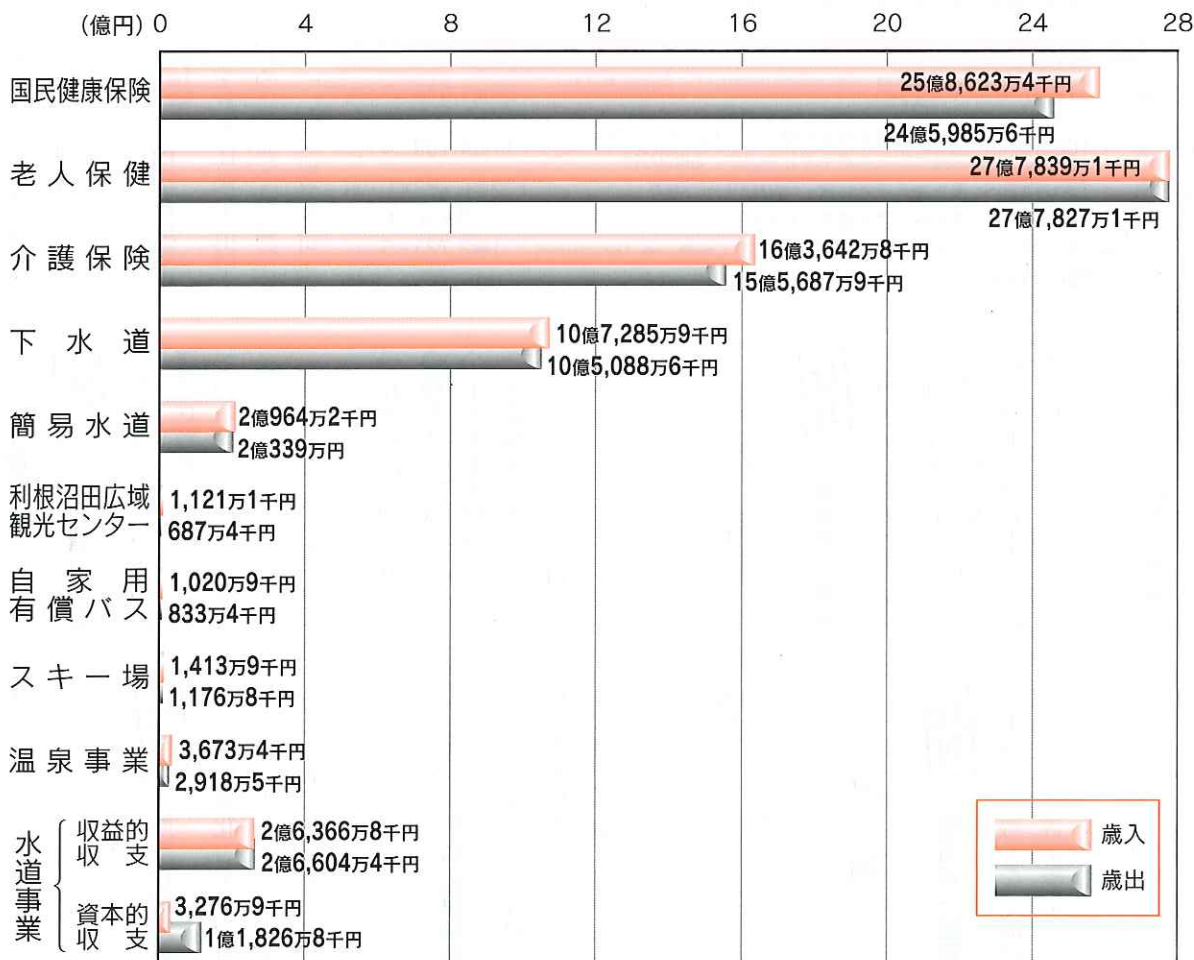
歳出

総額 **143億7,836万円**

(億円)

総額 **150億9,087万4千円**

歳入



特 別 会 計

歳入
歳出

このように
決まりました。

報告

- (株)水の故郷の経営状況
- (株)月夜野振興公社の経営状況
- (株)猿ヶ京温泉夢未来の経営状況
- 月夜野クラフトビール(株)の経営状況
- 一般会計補正予算(第一号)
- (株)小形動力消防ポンプ購入契約の締結
- 町優良農地保全条例の一部改正
- 町産地形成促進施設条例の一部改正
- 町優良農地保全条例の一部改正
- 町手数料徴収条例の一部改正
- 町大穴農村公園条例の制定
- 町教育委員会委員の任命

(すべて全会一致承認)

議案

- 町公平委員の選任
左記の人が推せんされました。
生津三郎氏
(猿ヶ京温泉)
(全会一致同意)
- 町教育委員会委員の任命
左記の人が推せんされました。
石坂作次氏(鹿野沢)
(全会一致同意)
- 町大穴農村公園条例の制定
- 町手数料徴収条例の一部改正
- 町産地形成促進施設条例の一部改正
- 町優良農地保全条例の一部改正
- 町優良農地保全条例の一部改正
- 町手数料徴収条例の一部改正
- 町大穴農村公園条例の制定
- 町教育委員会委員の任命

(すべて全会一致可決)

19年度補正予算(9月補正)

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	1億550万9千円	総務費(群馬テレビ中継局デジタル対応負担金) / 620万5千円 税務総務費(鑑定評価委託料) / 142万2千円 障害者福祉費(障害福祉システム制度改正対応業務委託料) / 390万1千円 保育園費(子育て環境づくり推進補助金) / 589万円 上水道費(水道事業会計繰出金) / 1,552万円 簡易水道費(簡易水道特別会計繰出金) / 758万3千円 農地費(基盤整備促進事業費) / 909万円 〃(県営畑地帯総合整備事業負担金) / 788万2千円 林業振興費(県単独治山事業負担金) / 300万円 商工振興費(中小小口融資代位弁済補償金) / 110万5千円 道路新設改良費(上河原町営住宅線改良工事等) / 3,397万円	129億 6,773万9千円

項目	補正額	主な内容	総額
老人保健	13万7千円	一般管理費(後期高齢医療関係データ作成委託料) / 13万7千円	28億1,976万7千円
介護保険	7,100万4千円	介護給付費準備基金積立金 / 3,221万7千円 国庫支出金等過年度分返還金 / 3,869万円	17億4,100万4千円
簡易水道	783万5千円	量水器交換修繕費 / 589万2千円 など	2億6,383万5千円
下水道	1,402万2千円	量水器交換修繕費 / 1,552万円 など	3億16万6千円
水道事業	▲187万6千円	配水管布設替え・配水管延長工事費 / ▲187万6千円	1億2,723万5千円
収益資本	886万3千円	特環下水道建設事業費 / 340万円 など	10億4,786万3千円

◇一般会計

反対 原沢良輝議員

土地開発公社の道路設置、まちづくり交付金・合併特別債を利用した補助

— 討論 —

事業、温泉の浚渫・無散水消雪など中止すべきです。

賛成 前田善成議員

いずれも住民生活向上のために必要な整備です。(賛成多数可決)

◇老人保健特別会計

反対 穂苅清一議員

七十五歳以上の後期高齢者医療制度が算入されているのには同意できません。(賛成多数可決)

— 討論 —

●道路特定財源の一般財源化反対に関する決議

反対 島崎栄一議員

国民から集めた税金を特定の分野に固定することとは、国の発展や国民生活の向上にブレーキをかけてしまいます。

賛成 鈴木 勲議員

三国トンネル・国道二九一号線・玉原道路の問題が、当町の発展と住民

生活向上に大きく関わります。

反対 原沢良輝議員

一般財源化して、福祉や子育て支援、生活支援などに使うことが必要です。

賛成 林喜美雄議員

道路整備が立ち遅れている当町にとって、一般財源化は容認できません。(賛成多数可決)

— 討論 —

反対 穂苅清一議員

十分な議論もなく最終日にこの文書が提出されたことや、未納者すべてに強硬な滞納処分をする前に、行政がすべきことがあるのではないだろうか。(賛成多数可決)

(賛成多数可決)

※浚渫(しゅんせつ) = 水底の土砂などをさらうこと

道路特定財源の一般財源化反対に関する決議

国においては、一般財源化を前提とした道路特定財源の見直しが進められているが、一般財源化により道路整備に必要な予算が確保されなくなること及び

「受益者負担の原則」に反することが大いに懸念されることである。道路は町民の生活・文化の向上、地域社会・経済の発展、災害時における緊急輸送、救急医療など、全ての社会活動に最も重要な社会基盤施設であり、その整備は必要不可欠である。また、大都市圏を除く地方部での整備状況はまだまだ十分でなく、格差のない調和のとれた住みよい地域社会の実現のためにも、その整備が強く要望されているところである。

みなかみ町においては、過疎化・少子高齢化の進行を止めるべく、諸般の対策を講じているなかで、道路整備の遅れによって、これらが効果的に生かされない恐れがある。特に災害時の代替交通路の整備など、安全で災害に強い道路の確保が緊急の課題となっているところである。特に、本町の道路交通網の課題である、一般国道一七号新三国

トンネルの開削、国道二九一号の改良、玉原道路の建設は、本町の発展と地域住民生活の向上を図る上で欠くことのできない重要なものである。

他方、一世帯当たりの自家用車保有台数について、一般的に都市部では一台を下回る地域もあれば、みなかみ町では三台弱の保有台数であり、一般財源化は、公共交通サービスが得られにくく、自家用車が毎日の生活に欠かせない、町民にとっては受益と負担の関係で不公平なものとなる。

よって、国は、地方の実情を正しく認識するとともに、道路特定財源は「受益者負担の原則」による目的税であることを十分に踏まえ、一般財源化など道路特定財源の用途を拡大することなく、引き続き全額を道路関係諸事業に充当のうえ、地方の道路整備を促進するよう強く要望する。

以上、決議する。

平成十九年九月十四日

みなかみ町議会

町税・公共料金納付の公平性と滞納処分強化を求める決議

現在、我が国の財政は極めて厳しい状況にあり、危機的な財政状況にあるのは地方財政も例外ではない。特に財政基盤の弱い地方自治体の財政は火の車状態で、生活に欠かせない住民サービスまで低下させ財政運営を行っている状況である。みなかみ町においては、行財政改革の推進を図り職員の早期退職や施設の統廃合に取り組んでいる昨今であるが、一方で、地方分権や今後の少子高齢化の進展などに伴い、財政運営が益々厳しくなることが予想される。

平成十八年度決算を審議した結果、町税をはじめとする公共料金の滞納状況は、民事再生により、一部回収ができたもののその他の滞納については、滞納整理室の設置にもかかわらず、進展していない状況にある。

みなかみ町の平成十八年度滞納処理額は一億三千万円余の巨額に達している。この内町税が大半を占め、九八・七％となっている。地方税法一八条、地方自治法三三六条の時効による権利の消滅となることは理解を示すが、決して簡単に許される問題ではない。上位三〇名とその家族で一億円を超える欠損額はその深刻な状況を物語っている。一部の人間によって町財政を崩壊に至らしめる危険性を持つからである。

交付税は滞納額を考慮しないため、国から交付される交付税がこの分減額され、町に二重の損害を与えた結果に至っている。しかし、これらの不納欠損の中身は合併以前のものが

大半であり、納税者及びそれを受ける行政サイドの姿勢にも大きな問題を残す結果となっている。

税金や公共料金の滞納が滞納処分されず税金や公共料金の滞納が滞納処分されず滞納処分されないが、法の定めによりやむを得ぬ処理と理解せざるを得ない。また、時効等により処理された人達は、まじめに納税等している町民の負担で同じ行政サービスを受けていることになり、今後は行政サービスの制限や税、公共料金の公平、公正の観点から滞納処分、公売等を適切に行い、不納欠損処理が限りなくゼロに近づきよう滞納整理室等の一層の徴収努力を望むものである。

よって、次の事項を速やかに実行するよう強く求める。

記

- 一、納付の公平性を保つため、不能欠損処理を行う前に不動産等の財産差押えを実行すること。
- 二、水道料金の未納者に対しては、給水制限などの方策を講じること。
- 三、町営住宅使用料の未納者に対しては、明け渡し請求を実行すること。

以上、決議する。

平成十九年九月十四日

みなかみ町議会

5 議員が質問を行いました。

主な内容

- 島崎 栄一 ①スクールバスの保護者負担の無料化 …………… 7
②夏休みのプールに行くスクールバス
- 鈴木 勲 ①国道291号線の凍結防止対策 …………… 8
②農の役割重視、食の危機に気付こう
- 穂苅 清一 ①後期高齢者医療制度 …………… 9
②道の駅「水紀行館」
- 原澤 良輝 ①学童保育の充実 …………… 10
②町総合計画
③テレビのアナログ放送打ち切りに対する対応
- 前田 善成 ①地場産業である建設業の
専門業者の企業競争力と育成 …………… 11

島崎 栄一 議員

義務教育の意義を踏まえ

スクールバスは無料とすべき

教育長 条例統一に向け検討中、年内目途にまとめたい

問 福島県や栃木県に研修で行ったとき、スクールバスについて保護者からお金を取っているか聞いたところ、すべての町村で無料でした。

日本では憲法で義務教育は無料と決まっております。教科書や授業料が無料です。「人は石垣、人は城」、人材なくして生活の向上も国の発展ありません。

大切な人材を育てるために日本は財源を教育に投入し、義務教育は無料で受けられるようにしてきました。その方針が正しかったことは、現在の発展した日本を見れば分かります。

歩いて通うのが困難な地域の子供が、学校まで通えるようにスクールバスを整備するのは、町の

責任です。

まだバスという交通手段が一般的でなかったときは、遠距離の地域には分校を造り、学校に通えるようにしました。分校に通う小学生の保護者から分校維持費を徴収していたでしょうか。本校に通う児童は無料で、分校は有料だったでしょうか。

バスという交通手段が普及してきたので、分校の替わりにスクールバスを整備して、町内くまなく義務教育が受けられるようにしたことを考えれば、保護者からバス負担金を取ることは「理屈に合わない変なこと」です。

できる限り速やかに、義務教育のスクールバスは無料化しなければなりません。

今まで当町でスクールバスの無料化が実現しなかったのは、議会・町長・

教育委員会の怠慢だったと思います。



遠距離地域の児童の足となる

答

教育長 現在は合併前の旧町村の条例に基づいて、スクールバスの運行をしています。統一に向けて、区長・学識経験者・PTA・学校関係者に委員をお願いし、スクールバス運行検討委員会を立ち上げ、料金、利用者の範囲、利用方法等について検討しています。検討委員会を三回行っていますが、現時点では結論に至っていません。年内を目途に結論を出せるように考えています。

■夏季休暇とスクールバス
児童のプールへの足確保してほしい

問

夏休みに小学校のプールに来られるように、スクールバスを運行してください。
親が働いていて、車で送れない小学生もプールに来られるようにしてください。

答

教育長 猿ヶ京地区については、当面既存のプールを、教員の協力を得ながら運営していく予定であり、同じく須川地区においても今まで通り、B&Gのプールを使用させたいと考えていますので、現在スクールバスの運行は考えていません。

鈴木

勲 議員

危険箇所多い国道291号線 早期に改良が必要

町長 関係機関に積極的に働き掛けたい



冬季以外でも地形上決して安全とは言えない

問 当町は、過疎化・少子高齢化が急速に進む中、人口の定住や地域社会の活性化を図りつつ頑張っています。

また当町は観光と農業の町であり、冬期間はウィンタースポーツの客で賑わっていますが、道幅が狭く、凍結すると車両事故が絶えません。上毛

高原駅北側の国道二九一号線は、凍結すると事故の発生が多いので、道路改良、消雪工事を行っていただきたい。

答 町長 この二九一号線は、地域間交流にとって極めて大事な道路です。国道ですので、整備促進を図ることが緊要

です。

ご指摘の区間は、ガードレール毀損の状況から、道路改良で急勾配・急カーブの箇所が整備できれば、除雪による安全確保ができるかと判断されています。道路改良の促進について関係機関に陳情・要望していきたい。

問 事故が発生する地点を地元区長さんと同つてみると、毎年十八回くらい事故が発生していますが、地元の車両だけではなく、他県の車両が道路事情が悪いため急ブレーキをかけ事故につながるのとことです。災害に強い道路確保が急務であると思いますが。

答 町長 この道路を、安全で快適な道路にするために、抜本的な取り組みが必要です。国道二九一号線道路改良整備促進期成同盟をつくり、積極的に運動を展開する必要があります。

■食育の取り組み

給食への地元食材の使用状況は

問 一昨年七月、食育基本法が施行され、健全な食生活の実現と、自然の恩恵や農業など食に関する感謝・理解を深めていただきたい。地元食材を使った学校給食、農業や郷土料理の体験を期待しています。

そこで、食育について、当町ではどのように取り組んでいるのか、また給

食センターで地元食材をどの程度利用しているか、その利用率について伺いたい。

答 町長 現在、栄養教諭の資格を取得した栄養士が中心となり、子ども達に学校給食・地域の食育について活動しています。



町内でも豊富な食材が収穫される

町内三センターともに、地元食材を活用しています。調達できない場合は、利根沼田地域の生産物を使用しています。今後は、地元産を積極的に使うよう努力するとともに、安全でおいしい給食づくりに励んでいきます。

水紀行館の食堂閉鎖

どのような事情か

町長 補助金の目的に対し不適切と指導を受けた

問 国の補助事業で水紀行館を十年前にオープンしましたが、一月に

活性化センター内の食堂が閉鎖された理由と、また指定管理者の(株)水の

故郷にどう指導し、協議してきたのでしょうか。町に責任は無かったのかお尋ねしたい。

答 **町長** 水紀行館建設は、中山間地域農村活性化総合整備事業の公

共施設であり、平成十年に会計検査院の实地検査で、食堂営業について指摘を受けました。

その後平成十八年十二月、食堂営業は補助金の目的に馴染まず、目的外使用のおそれがあるとの指導があり、県、町、指定管理者と三者協議のうえ食堂は停止し、そば打ち体験室や地場産業の木工品等の展示場に変更しました。

問 交流促進センター・多目的ホールが「満

店横町」と命名されて物産店がオープンしましたが、「補助金適正化法」に照らして事業計画変更などの許可を得てきたのでしょうか。

答 **町長** 新山村振興等農村漁業特別対策事業で建設されたもので、

今回、多目的ホールを収益事業が可能な施設に用途変更しました。一月から協議をし、七月十二日に変更承認を受けたところです。

十年が経過し、時代に適応した施設内容が適当と考えます。水上温泉の玄関口であり、お客さんに満足していただける施設に改善していきたい。



内部の施設についていくつかの変更が行われた



いつまでも元気で暮らせるように

答 **町長** この制度の財源は、公費五割、支援助金四割、保険料一割で運営するの

■後期高齢者医療制度 制度の大幅見直しの考えは

問 老人保健法の改悪で、来年四月に七十五歳以上の高齢者を中心に、後期高齢者医療制度が施行予定です。

六月議会で、この制度

の大幅見直しを求める請願が趣旨採択されました。新たに保険料が年金か

ら天引きされたり、保険料滞納には保険証取り上げ(資格証明書発行)が行われます。この見直しについての考えを聞きたい。

原澤 良輝 議員

子育てのバックアップへ 町の学童保育の体制は

教育長 5施設を月～土曜日に利用



月夜野わんぱくクラブ



問 今、若い世代では共働き世帯が増えています。子育てを社会的にバックアップし、安心して子育て出来る社会環境を整える必要があります。

厚生労働省や内閣府の調査でも、七割が子育ての費用や医療費の無料化など、経済的支援を求めています。
町には九小学校に一二

三五人の児童が学習しています。学童保育体制は児童館や学童クラブなど約一〇〇人足らずです。国は全児童を対象にした「放課後対策を」としていますが、町の方針を質問します。

答 教育長 小学生が放課後利用できる施設は五施設あります。学童保育の登録は月夜野四七

人、新巻一九人、須川一三人で、月曜日から土曜日に利用しています。

新巻と須川は統合を予定しており、現在のいはる幼稚園を利用します。月夜野は予想より利用者が急激に増加しておりますが、施設の拡充はもう少し状況をみて考えたい。

園庭と道路の境目は早急に対策をとります。

**■町総合計画策定
意見交換の機会増やしては**

問 総合計画策定の地区座談会が九会場でおこなわれましたが、町民の参加者が少なく、町民の意見を取り入れた計画になるか心配です。

多くの町民が参加出来るように、地域の範囲を限定して時間をかけて再度、意見交換の場をもうけてはどうでしょうか。

答 町長 座談会の参加者は一七五人でした。七月に町内三〇団体の代表者から意見を伺いました。

町民からの意見と第一次素案を町総合計画審議会で議論し、案が出来たら「意見公募制度」で多くの町民の意見を反映したい。

■地上波デジタル放送移行アナログ放送打ち切りへの対策は

問 大峰中継局の完成でデジタル放送受信が可能になりましたが、二〇一一年七月にアナログ放送が中止になります。デジタル放送が受信できない地域はどれくらいでしょうか。

また、その対策と、デジタル機器に買い換えられない世帯への対策は。

答 町長 難視聴地域は三五あります。個人負担が三万五千円を超えた分の三分の二を国・町で補助します。国はメーカーに、五千円以下でチューナーの開発を要請しています。

前田 善成議員

地元建設業者を育成し 企業競争力の向上を

町長 商工会主体で施行、町も応援したい

問 中山間地域での地場産業を語るうえで、建設業に依存している人

たちを語らずにはいられません。

元請けのゼネコンより専門業者としてのサブコンの方が業者数が多く、地産地商の考えに立つて、公共工事削減など建設業者に吹く風は厳しく、とりわけ利根沼田は着工件数も少なく大変です。ゼネコン同様に、各現場に管理技術者を置かなければなりません。電気、管、造園などの

国・県・一部の町村のように、建築工事を行う際、分離発注やCM方式、異業種JVによる専門業者の施工機会の確保や育成の考えについて聞きたい。

答 町長 公共工事は七

三%も減少し、厳しい状況下です。しかし、災害時には地元業者が貢献してくれています。したがって工事発注量の増大は考えていますが、その際に分離発注等する考えはありません。

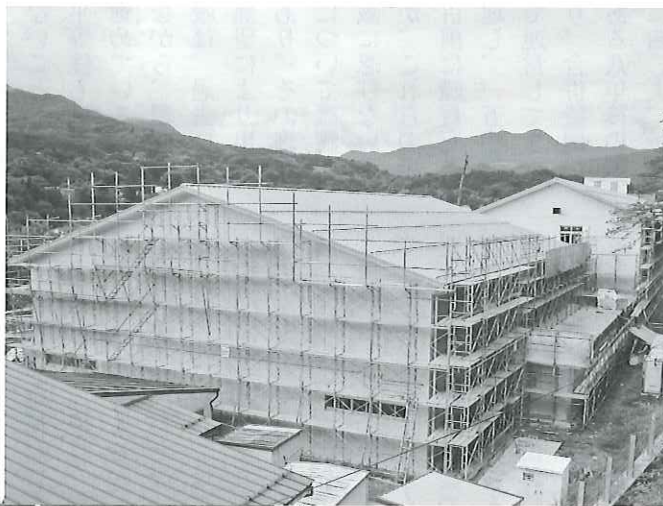
答 総合政策課長 品質

確保の点については、発注課の裁量に任せたい

問 国や県の再生プラン

で、専門技術者の受注機会を増加し高付価を付けたり、競争力を高める考えに立った政策や、平成十七年四月一日より公共工事の品質に関する法律に基づき、公共団体の長の取り組みについてどう考えていますか。

また、国や県と連携し、専門知識や技術についての考えを聞きたい。



JVにより建設されている統合小学校

とやっているという状況であり、今後も同様なやり方で考えています。

答 町長 公共工事の品質確保に関する法律（品確法）については理解していません。

問 県では一九市町村が品確法の考えに立ち、電子入札制度に移行して

おり、専門技術者の受注機会を与えています。また一般競争入札に参加する際、元請けの施工実績が問われています。国・県などに参加し競争できる業者となるため、地元での施工実績の機会を与えてほしい。

答 町長 商工会中心に業者育成を行い、時代に対応できる業者を育てるような環境づくりを、町としても応援していきたい。

問 専門業者に直接工事の受注をさせることはもちろんですが、電子納品など、電子化を行う際の助成に力を入れていただき、ハード面だけでなく、ソフト面でも生きている企業の育成につなげてほしい。

※1 CM方式＝CM（コンストラクション・マネージャ）が、発注者の代行として発注業務や工程管理などを行う。

※2 JV＝建設工事共同企業体

町有施設の統廃合について

9/14

報告：委員長 速水一浩

- 本特別委員会では、過去二度にわたり調査報告をしてきた。これらは、財政再建の一つの柱である「物件費の削減」に直接寄与すると共に、間接的には、各施設の費用対効果において、まずは、自助努力により出来る限り費用を削減し、効果と照らし合わせ、過去に地区の熱い要望から設置された施設の統廃合について議論すべきと考えたからである。
- 本町は、三町村の合併により、同じような施設を含め、二〇〇以上の町有施設を有する。本特別委員会では、その内の一八八施設について現在調査を進めているが、それらの施設の統廃合について議論する上で、
- ①施設の設置経緯及び意義について。
 - ②施設の設置意義の現状について。
 - ③施設と地区の関係について。
 - ④施設の現在の利用状況と将来性について。
- ⑤施設の民間活用（指定管理料〇円による指定管理等）について。本町の広大な面積や合併して間もないこともあり、地区間の平等性も勘案して議論を進めている。
- しかしながら、現在ある町有施設は、過去に地区住民の熱望により出来た施設であり、その施設の統廃合について議論することは誠に忍びないことであるが、これらの施設は、合併前に職員三九〇人で管理し、一五〇億円の予算で運営してきたものであり、合併特例法の期限である八年後の職員の数を二四〇人、予算を一〇億円と想定した時、管理上からも財政上からも、最低でも現在の施設数の三分の二にせざるを得ず、本特別委員会は、六〇施設の統廃合を五年を目途に進めるべきと考える。
- 町民の皆様には、縮減した職員の数と予算で維持管理できる施設の数は限りがあることをご理解いただき、施設の統廃合にご協力頂けることを切に望む。
- 細かい報告書の内容（全文は議会事務局にあります。）については、紙面の都合上割愛するが、かなり厳しい内容となった。町当局においては、この報告書を基に十九年度の「委託料」の契約を結んで頂くことを望む。
- 最後に、今回の報告書では、職員に対し大きく期待を寄せる内容となったが、民間では既に歩んだ道であり、本町においても、勧奨退職に応じてくれた職員や補助金ゼロベースからの削減を受け入れざるを得ない町民の気持ちに配慮するためにも、議会・町・職員が一丸となり、一日も早く財政再建を成し遂げ、「夢のあるみなかみ町」創造のため、今後も更なる協力をお願いし、本特別委員会のお報告とする。

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願 10	19. 8.23	「憲法九条を守る」決議について	憲法改悪反対利根沼田共同センター代表 小林一義	総務文教	継続審査
陳情 1	19. 1.29 (継続審査分)	下津地内の水路拡張工事のお願い	下津3252 高橋金作 ほか4名	産業観光	趣旨採択
5	19. 5.28 (継続審査分)	町道舗装のお願い	布施86 布施区長 阿部長一郎 ほか1名	産業観光	継続審査

議会だより編集委員会

- ◆委員長 河合 幸雄
- ◆副委員長 森下 直
- ◆委員 林 一彦 原澤 良輝
- 島崎 栄一 本多 秀律

議会を傍聴してみませんか？

◆12月の定例会は、6～14日を予定しております。

—お問い合わせは— 議会事務局まで
☎ 62-2111 (内線 611)



議会の動き

*平成19年7月~9月

- | | | | |
|--------|--------|---|-----------------------------|
| 7
月 | 1(日) | 湯沢町との交流親善ゴルフ大会
谷川岳山開き安全祈願祭 | |
| | 2(月) | 東京都奥多摩町議会より行政視察来町 | |
| | 3(火) | 広域圏議員協議会
定例議長会
町農業団体連絡協議会 | |
| | 4(水) | みなかみ祭り実行委員会 | |
| | 5(木) | 決算監査 | |
| | 6(金) | 決算監査 | |
| | 7(土) | 宝台樹やすらぎの森・森開き | |
| | 8(日) | 平和大行進
関東甲信越ターゲットバードゴルフ大会 | |
| | 9(月) | 議会だより編集委員会 | |
| | 10(火) | 決算監査 | |
| | 11(水) | ノルンスキー場運営協議会
決算監査 | |
| | 12(木) | 谷川岳交通対策連絡協議会 | |
| | 13(金) | 県議長会監査
決算監査 | |
| | 17(火) | 決算監査 | |
| | 18(水) | 商工会理事会 | |
| | 19(木) | 小口資金融資審査会
決算監査 | |
| | 20(金) | 決算監査 | |
| | 21(土) | 資源リサイクルセンター運営委員会 | |
| | 22(日) | 利根川源流讃歌発表会 | |
| | 23(月) | 障害者計画推進協議会 | |
| | 24(火) | 議会全員協議会
議会運営委員会
行財政特別委員会 | |
| | 25(水) | 総合計画審議会
防犯協会沼田支部定期総会 | |
| | 26(木) | 玉原道路期成同盟
渋川下新田線促進期成同盟総会 | |
| | 27(金) | 利根川水系上下流交流会(東京) | |
| | 29(日) | かっぱまつり・猿ヶ京温泉花火大会
都市間交流推進連絡協議会(さいたま市) | |
| | 30(月) | 広域組合議会定例会
県議長会役員会議 | |
| | 31(火) | 町内小学校水泳記録会 | |
| | 8
月 | 1(水) | 武尊神社例大祭
議会だより発行
町組祇園祭 |
| | | 10(金) | 利根沼田学校組合定例会
総務文教常任委員会 |

- | | | | |
|--------|--------------------------|--|----------------------|
| 8
月 | 11(土) | 茨城県取手市花火大会(取手市) | |
| | 16(木) | 資源リサイクルセンター勉強会 | |
| | 17(金) | 藤原諏訪神社例大祭 | |
| | 18(土) | 利根沼田議員ゴルフ親善大会 | |
| | 19(日) | みなかみ祭り | |
| | 20(月) | 利根郡町村議長会行政視察(下北半島) | |
| | 22(水) | 資源リサイクルセンター運営委員会 | |
| | 23(木) | 小口資金融資審査会
土地開発公社理事会 | |
| | 26(日) | 藤原湖一周マラソン大会 | |
| | 27(月) | 広域定例理事会
利根地方総合開発協会理事会 | |
| | 28(火) | 全国町村議会シンポジウム(東京) | |
| | 29(水) | 議会運営委員会
議会広報委員研修会(東京)
行財政改革特別委員会
月例監査 | |
| | 30(木) | 議会広報委員研修会(東京) | |
| | 31(金) | 議会全員協議会
総務常任委員会 | |
| | 9
月 | 1(土) | 北関東ゲートボール大会 |
| | | 5(水) | 中国強制労働者遺族面談 |
| | | 6(木) | 第5回みなかみ町議会9月定例会(開会日) |
| 7(金) | | 第5回みなかみ町議会9月定例会(一般質問)
議員全員協議会 | |
| 8(土) | | おいでまつり(湯原)
手をつなぐ育成会関東甲信越大会
各小学校運動会 | |
| 10(月) | | 各常任委員会
群馬県反核平和の火リレー来庁 | |
| 11(火) | | 利根沼田地区福祉パレード来庁
新三国トンネル期成同盟監査
行財政改革特別委員会 | |
| 14(金) | | 第5回みなかみ町議会9月定例会(閉会日) | |
| 17(月) | | 若栗幼稚園運動会 | |
| 20(木) | | みなかみ町基本条例審議会 | |
| 21(金) | | 小口資金融資審査会
上下水道経営改善検討委員会 | |
| 23(日) | 茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会 | | |
| 28(金) | 栃木県野木町議会より行政視察来町
月例監査 | | |
| 29(土) | アドベンチャーフェスティバル | | |
| 30(日) | 町秋季消防点検 | | |



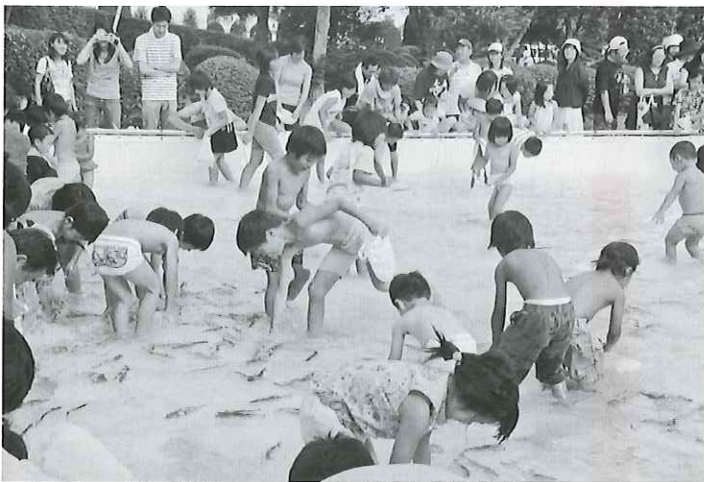
◆議会広報委員研修会◆

8月29(水)・30(木)の両日に東京にて開催された研修会に、議会だより編集委員会より河合幸雄・林一彦・原沢良輝の3委員が出席し、研修を受けました。

住民の力で 地域の夏祭りが復活!

8/19

みなかみ祭り



▲魚つかみ大会で夢中になって魚を追う子どもたち



▲福まきでは来賓の方々も一緒に餅を投げました



▲祭りに彩りを添えたフラダンス

八月十九日、みなかみ祭り実行委員会主催による「みなかみ祭り」が月夜野ホッケー場をメイン会場として開催されました。
大沢正明群馬県知事ほか多くの



来賓を迎え、家族連れなど約五千人が来場しました。
地元団体等のパフォーマンスやショーが観客を楽しませ、フィナーレでは一万一千発の花火が夜空を彩りました。
また、長年続いてきた各地域の祭りも町村合併のなか、中断を余儀なくされていましたが、月夜野・水上・新治の地域の力が団結し、今年より盛大に復活させることが出来ました。今後、ますます広がる地域の底力、地域力に注目が集まっています。



▲矢瀬太鼓の勇壮な演奏

▼小学生を中心にしたホタル御輿の御渡りやカワコナ飼育体験発表が行われました



▲お楽しみ大抽選会や、群響の佐野隆・中村陽子両氏を迎え、野外コンサートが盛大に行われました

6/23

祭
目夜野
ホタル観賞の夕べ



各地区の夏祭りが復活しました！



▲大河ドラマ『風林火山』に出演中の嘉島典俊氏(右)のトークショー



▶猿ヶ京学区全体の祭りが誕生し地域の熱い思いが大輪の花を咲かせました

7/29

祭
猿ヶ京温泉まつり
赤谷湖畔花火大会

▼復活！おいでまつり!! 7基の神輿が温泉街を練り歩きました



▲おいで踊りに議会も飛び入り



9/8-9

祭
おいで祭り



受託農家の現状

アグリサポート(有)代表

本多 義光 (新巻)



機械を使った田植え

私は二十五年前から、近隣の農家から依頼されて水田の作業受託を始めたが、少しずつ作業受託が増えてきて、平成十六年二月にアグリサポート有限会社を設立し、当初借り入れ農地が六ヶ所、農作業受託が十一・五ヶ所でしたが、現在は借り入れ農地が十一ヶ所、農作業

受託が八十二戸の農家、十八ヶ所の規模になり、予想以上の作業受託が急増し、機械設備が追いつかないのが現状です。

圃場面積は平均すると八ヶ所と狭く、進入路も狭いので機械の出入りも困難を極めます。草刈などは土手が大きく、耕作面積より土手の面積が広い所もあり、作業能率も悪く、コスト削減も難しいです。

近年、猪、熊、猿などの被害が増え、経済的にも精神的にも、農家に打撃を与え、現在の米価では作業代金の値上げは難しく、農業を続けるのは困難と言わざるを得ません。

内閣が変われば、農業政策も変わり、集落営農などの農業改革はみながみ町では難しく、補助金に頼る農業は農家の衰退を招きます。

町独自の農業対策を望みます。

利根沼田地域は、新潟の魚沼産に負けない美味しい米が採れる地域ですが、荒廃農地を

少しでも減らし、自信と誇りを持ち農業を続け、安全で美味しい米を作り、次の世代に自然豊かなみながみ町を譲りたいと思います。



今年も収穫の季節となった



九月議会では平成十八年度の決算が話し合われました。各種団体への補助金の削減や廃止、職員の給料の引き下げなど、厳しい政策の結果、何とか決算が認められました。また、九月議会では、滞納整理を進める決議も出され、賛成多数で通っています。

町民に厳しい町政が行われている一方で、これは？と思うような出費も、まだまだあります。

厳しい集金体制で、町民からお金を集める以上、行政の出費も無駄づかいは許されません。

議会は町財政が浪費されるのではないように、きちんとチェックする責任があります。

町民みんなが喜ぶ、有意義な政策を実現していきたいでしょう。

島崎栄一